

南丹市教育委員会会議録

令和2年第11回定例会

(令和2年11月19日)

令和2年南丹市教育委員会第11回定例会会議録

1. 日 時 令和2年11月19日(木)
開会 午後2時30分 閉会 午後4時17分
2. 場 所 八木市民センター会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二
委 員 高屋 毅史
委 員 城戸 貴子
委 員 湊上 真奈美
6. 欠席委員 教育長職務代理者 武田 義史
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫
教育参事 榊 貢
教育総務課長 柴田 裕子
学校教育課長 山内 紀子
学校教育課参事 平井 祐子
社会教育課長 藤林 裕
8. 傍 聴 人 なし

日程1 開会

教育長が令和2年南丹市教育委員会第11回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に柴田教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育次長)

- 10月26日 南丹市中学校進路指導主任会議
- 10月28日 子ども家庭サポートセンター 調印式・内覧会
- 11月6日 食の指導充実事業研究発表会
- 11月9日 地域とともにある学校づくり研修会
- 11月10日 校園長会
 - 一点目、各校の研究発表について
 - 二点目、コロナ対策（感染予防の徹底）について
 - 三点目、教職員の状況把握について
 - 四点目、教育創造事業について
 - 五点目、連絡手段のデジタル化について
 - 六点目、交通事故について
 - 七点目、さわやかな挨拶について
- 説示後、事務局各課から報告・連絡を行った。
- 11月11日 道徳教育公開授業
地域道徳事業推進協議会
- 11月12日 学びの深化プロジェクト研究発表会
- 11月13日 南丹市若手教員研修講座
- 11月16日 教育創造事業中学校ヒアリング
南丹市小中学校人権教育主任会議
南丹市いじめ防止等対策委員会
- 11月17日 教育創造事業小学校ヒアリング
- 11月18日 放課後児童クラブ八木せきれい東竣工式

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

日程5 議事

議案第38号 令和2年度南丹市一般会計補正予算に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について

議案第38号については、南丹市教育委員会会議規則第15条第4号に該当することから非公開とする。併せて、同規則第21条により本議案に関する会議録は非公開とする。

議案第39号 南丹市立学校教育の情報化推進計画（案）について

(事務局)

資料に基づき報告

[採決]

議案第39号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程6 その他

- (1) 行事予定
- (2) 教育総務課から報告
- (3) 学校教育課から報告
- (4) 社会教育課から報告
- (5) その他

(事務局)

12月25日「市長と語ろう私たちのまちづくり」について、行事予定に追加いただきたい。

(城戸委員)

当日の教育委員の対応は。

(事務局)

都合がつく方はお世話になりたい。コロナ感染症予防対策として密を避けるため、今回は別室による視聴になる可能性があることを了解いただきたい。CATVでの放映についても調整中である。

(城戸委員)

成人式は、今の状況の中で開催されるとのことであるが、コロナ禍で十分な予防対策を講じたうえで開催する主催者の意図を、新成人に対し、早いうちに伝えていただきたい。新成人は感染しても無症状であったり、感染予防に対する意識が薄い場合もあると思う。成人式の開催にあたり、「安全だから成人式が開催された」という誤解のもと、その後に同窓会等を開催して感染が拡大することはあってはならない。一生に一度のことなので、しっかり対

策をして開催したいという主催者の意図をしっかりと伝えていただきたい。

(事務局)

夏に成人式実行委員会を開催し、各町2名程度の選出があった。実行委員からは、コロナ禍の中、開催されることが嬉しいという声とともに、感染を心配する声もあった。この状況下での開催であるため、2部制にし、マスク着用や検温、消毒についても案内をする予定である。同窓会については、SNSで話が大きくなっていくこともあると思うが、学校単位やクラス単位の集まりになると大人数になるので自粛を促すようにしたい。

(淵上委員)

保護者から、2部制にするのであれば午前と午後にして欲しかった、との声を聞いた。早朝から着付けをした状態で夕方まで待たされ、また写真を撮る場合も外が暗くなっている。

(事務局)

午前中に消防の出初式が開催され理事者が参列される関係もあり、別日にならない限りはどうしても午後の開催になるのでご理解いただきたい。

(淵上委員)

CATV有識者会議の第2回目が来週開催されるので、持って行く意見があれば聞かせていただきたい。

(高屋委員)

近年の加入率の状況がどうなのか。町によって加入率が違うが、加入者数の増減率、町ごとの加入率のデータがないのでなんとも言えない。八木の加入者は増えているのか。加入率が変わらないのだと廃止もやむなしでは。旧園部町だけで使うのであれば今後の継続も行けるかもしれないが、今の人数が分からないので今は言えない。

(城戸委員)

ケーブルテレビを今後も続けるかどうか判断が難しいが、インターネットと切り離して考える点について、各家庭が直接通信会社と契約するほうが有利になる場合もあると思うので、切り離して考えてもいいと思う。

(淵上委員)

会議の中でも、八木は加入率が低く、今後も増える見込みがないので、切り離して考えてはどうかとの意見が出ていた。

(事務局)

今日の学校訪問の感想を聞かせていただきたい。

(高屋委員)

プールの改修や児童クラブの建築など教育施設が充実してきていると感じている。

(城戸委員)

どの学校も愛情を注いで、工夫して取り組まれている様子を感じることができた。他市町に比べても誇れる取り組みであると思うので、保護者や子どもたちがそのことに気づき感謝できるようになれば、学校に対する理解が深まり、感謝の気持ちが生まれる。保護者に伝えることによって、道徳感や「地域で育てる」ことに繋がるのではないかと思う。やっていることをもう一歩進んで、保護者に知ってもらうことで、学校に対する感謝が深まるのではないか。

(湧上委員)

各学校、幼稚園長、校長が子どもに対する熱い思いを持っておられ、さらに子どもがその思いを感じて行動していると感じた。子どもたちの目が輝いており、生き生きとして挨拶もでき、子どもの様子を通じて学校や幼稚園の教育の様子をうかがうことができた。

(事務局)

学校だよりや地域の広報を使ってPRする努力をしてもらっている。また、京都新聞にも協力いただいて特色を生かした記事掲載をしてもらっており、今後も広報に力を入れるように学校には伝えていく。また、学校運営協議会を通じて地域にも伝えていきたい。

(高屋委員)

第三の居場所の施設ができたと聞いているが、見学の機会を作っていただきたい。

(事務局)

本日の資料の中で、南丹市子ども家庭サポートセンターの竣工式、内覧会の記事を添付させていただいている。B & G財団から補助金をいただき、家庭でも学校でもない居場所づくりをする事業で、夜8時まで勉強をしたり食事をしたりして過ごす施設である。放課後児童クラブは保護者就労による保育であり、サポートセンターは子どもの成長や自立を支援する施設で子育て支援課が所管している。

[次回定例会について]

(教育長)

次回の定例会の日程について令和2年12月23日(水)午後3時30分から市町村教育委員会オンライン協議会の後に開催する。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後4時17分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
